

次の一步を進めるために（3市町村の取組に学ぶ）



「幼保小接続リーフレット」

「幼保小接続推進リーダー育成事業」（2年間）を活用して幼保小連携・接続を推進している3市町村（米子市・日吉津村・日野町）の今年度の取組を紹介します。
（このお役立ち情報は、令和4年2月県発行の「幼保小接続リーフレット」掲載の西部の取組を詳しく紹介したものです。県内の幼児教育施設・小学校等へ郵送されていますので、こちらのリーフレットも併せてご覧ください。）

～近隣の町とのつながりによる研修の充実～ （日野町）

日野町内だけでなく、日野郡3町の園・小学校に声をかけ、1年生の授業参観及び講演会を実施。学びを広げています。



ひのっこ保育所×根雨小学校

他町の小学校の授業を見たり、先生方と話したりする機会はなかなかなく、これからもこのような機会を通じて、共に学び合えるといいなと思います。講演会では、学びを基礎づけているのは「対話」の力だと聞き、保育を見直していきたいなと思いました。

（他町から参加の保育者）



～保育見学で幼児期の育ちを共有～ （米子市）

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに、保育見学で見られた子どもの育ちを共有しています。



富益保育園×弓ヶ浜小学校



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿
研修用シート」

保育見学では「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点に見学したり、園の先生から保育をする上で大事にしていることを聞いたりしました。遊びの中で試行錯誤したり、友達と協同して遊んだりする幼児の姿が見えてきました。

（小学校教諭）



職員同士が交流し、顔の見える関係になれたことで、学校へ散歩に行ったり、小学校の先生と気軽に連絡が取り合えたりするようになったことが収穫です。

（園長）



～幼保小接続アドバイザーの活用～ （日吉津村）

毎年、実施している保護者講演会、保小合同研修会に接続アドバイザーを招聘し、内容の充実を図っています。



日吉津保育所×日吉津小学校



「幼保小接続
アドバイザー派遣
について」

講演を聞いて、子どもが夢中で遊んでいる中にたくさんの学びがあると知りました。入学に向けて、家でも子どもの言葉をしっかり「聴く」ことを大切にしていきたいと思います。

（保護者）



研修会の効果的な進め方やリーダー育成の在り方について、幼保小接続アドバイザーに検討段階から相談にのってもらえたので、充実した研修会にすることができました。

（教育委員会）



次年度は、3市町村とも教育をつなぐ（カリキュラムをつなぐ）取組を進めていく計画です。国も、「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」を設置し、一層幼保小の連携・接続に力を入れて取り組もうとしています。それぞれの市町村、校区でも、工夫をしながら幼保小連携・接続に取り組んでいきましょう。



「幼児教育と小学校教育の
架け橋特別委員会」